

まんげつ もよう

## 満月の模様を見よう！

～うさぎに見えるかな～

月は望遠鏡がなくても模様が見える数少ない天体です。形は日々変わり三日月や半月、満月などその形ごとに呼び名も変わります。地球から一番近いのでこれまでに宇宙船が飛び、人間も探検に出かけたただ一つの天体です。皆さんが大人になったころには、南極観測のように観測チームが送られたり、観光旅行で行くことができるようになっているかもしれませんね。

今回のコラムでは月を肉眼で観察すると何が見えるのかを紹介しましょう。

まずは、形の変化を見てください。夕方太陽が沈んだ後、あたりが暗くなると見える細い月が三日月です。月は自分では光を出していません。どうやって光っているかと言うと、太陽の光を反射して光っています。

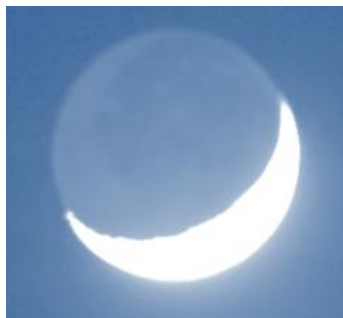
また、三日月に寄り添うようにぼんやりと光る丸い部分があります。これは「地球照」といいます。地球に当たった太陽光が反射して月を照らしています。

三日月から何日かたつと、月が半分光って見える時がきます。これが半月です。この頃になると月の中に薄暗い模様が見えてきます。

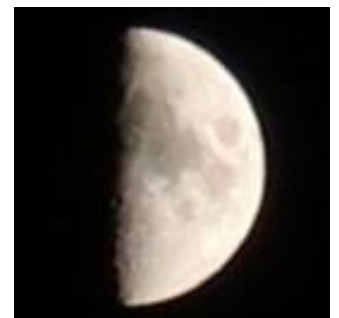
そして、半月から1週間ほどたつとまん丸の満月になります。三日月の頃に比べると大変明るく自分の影が地面にできるのが見えます。また、満月の中には薄暗い模様がすべて見えてきます。昔の人はウサギが餅つきをしているように見たようですが、皆さんもそのように見えるのでしょうか。

うさぎではなくカニや女性の横顔に見えるよと言う人もいます。どんな模様に見えるか皆さんも観察してみてください。

2月の満月は6日（月）、三日月は22日（水）、半月（上弦の月）は27日（月）です。そ



三日月



半月



満月



ウサギのもちつき



ハサミの大きなカニ



女性の横顔

れぞれ、夕方暗くなったら<sup>かんさつ</sup>観察してみましよう。その日の天気が悪かったら、前後の日でもそれほど<sup>か</sup>変わりませんので<sup>かんさつ</sup>観察してみましよう。(K.T)

※14日(火)も半月(下弦の月)が見えますが、出てくるのが夜中で<sup>かんさつ</sup>観察は大変です。  
半月の<sup>かんさつ</sup>観察は夕方に出ている<sup>じょうげん</sup>上弦の月にしてくださいね。

## あんない イベント案内 (3月)

てしてはイ  
ねしてマベ  
! 参加スクト  
し加クをへ



### 〜<sup>とくべつきかく</sup>春の特別企画〜 <sup>しぜんしゃしんてん</sup>自然写真展「<sup>さいこ</sup>彩湖・<sup>しぜん</sup>自然にカシャッ!」

<sup>さいこしゅうへん</sup>彩湖周辺で見られる<sup>しぜんかい</sup>自然界の<sup>すがた</sup>生き物たちの<sup>しきおりおり</sup>姿や、<sup>しぜんふうけい</sup>四季折々の<sup>きらく</sup>自然風景などを<sup>しきさいゆた</sup>記録した色彩豊かな<sup>しゃしんてん</sup>写真展です(下の写真は昨年度出品作品の一部です)。

期日: 3月1日(水)~5月7日(日) 場所: 彩湖自然学習センター4階学習室

期間中の休館日: 3/13(月)、27(月)、31(金)、4/10(月)、24(月)

※申込不要



#### 彩湖自然学習センター(みどりパル)

〒335-0031 埼玉県戸田市内谷 2887 番地  
Tel:048-422-9991 FAX:048-422-9993

開館時間 10:00~16:30

休館日 毎月第2・4・5月曜日(祝日を除く)

月末(土・日・祝日を除く)

※詳しくは彩湖自然学習センターホームページを  
ご覧ください。

<https://www.city.toda.saitama.jp/site/saiko/>

